

電球形蛍光ランプの目標基準値の考え方について（案）

1. 目標年度について

電球形蛍光ランプは、新製品の開発に必要な期間が通常３年程度であることから、目標年度までに少なくとも１～２回程度の製品開発の機会が得られるよう配慮する必要がある。

このため、電球形蛍光ランプの目標年度については、平成２４年度（２０１２年度）とする。

2. 目標基準値の設定

（１）基本的な考え方

目標基準値の設定にあたっては、トップランナー方式の考え方に基づき、目標基準値を設定する。具体的な考え方は、以下のとおり。

- ①目標基準値は、適切に定められた区分ごとに設定する。
- ②目標年度までの将来の技術の進歩による改善が確実に見込めるものについては、極力改善を見込んだ目標基準値とする。
- ③目標基準値は区分間で矛盾がないものとする。

3. 将来の技術進歩によるエネルギー消費効率の改善余地

電球形蛍光ランプは、消費電力が１０～２０Ｗ程度と小さいため、今後、消費電力を飛躍的に削減する技術革新は見込めない。また、昨今、政府において白熱電球から電球形蛍光ランプへの切替えを促す取組みが進められている中で、製造事業者においては、電球形蛍光ランプの使い勝手を向上するための安定器小型化等の技術開発に注力しているところである。使い勝手を向上するための技術開発は、一般にエネルギー消費効率を低減する傾向にあるため、製造事業者は、この効率低下を補うための技術開発を併せて行わなければならない。したがって、現状においてはトップランナー値を上回る省エネ技術の改善は困難である。

4. 具体的な目標基準値の設定

目標基準値の設定にあたっては、上記のとおり、現状のトップランナー値をさらに上回る改善が困難であることから、トップランナー値を目標基準値として設定する。

表 1．電球形蛍光ランプの区分及び目標基準値

区分名	ランプの 大きさ	ランプ の光色	ランプの形状	トップラ ンナー値 (lm/W)	目標基準 値 (lm/W)
1	1 0 形	電球色		60.6	60.6
2		昼白色		58.1	58.1
3		昼光色		55.0	55.0
4	1 5 形	電球色		67.5	67.5
5		昼白色		65.0	65.0
6		昼光色		60.8	60.8
7	2 5 形	電球色	D 形のもの	72.4	72.4
8			D 形以外のもの	69.1	69.1
9		昼白色	D 形のもの	69.5	69.5
10			D 形以外のもの	66.4	66.4
11		昼光色	D 形のもの	65.2	65.2
12			D 形以外のもの	62.3	62.3

図1. (区分1) 10形・電球色のエネルギー消費効率の分布

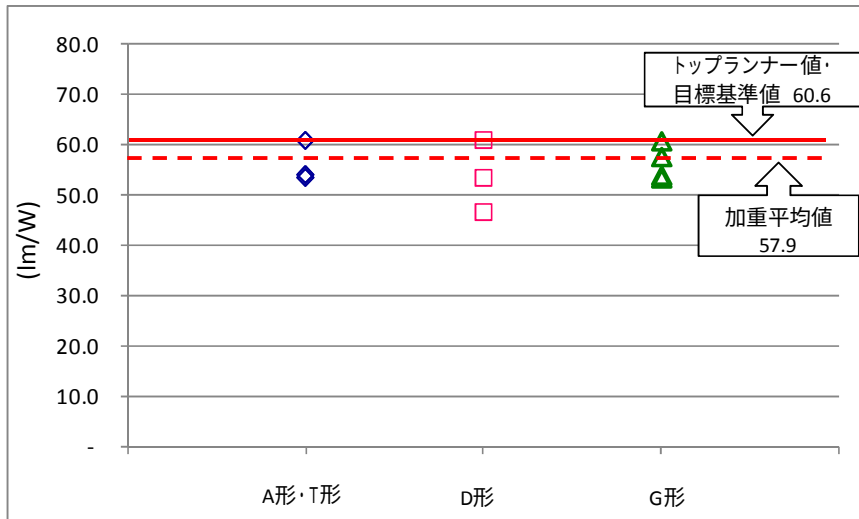


図2. (区分2) 10形・昼白色のエネルギー消費効率の分布

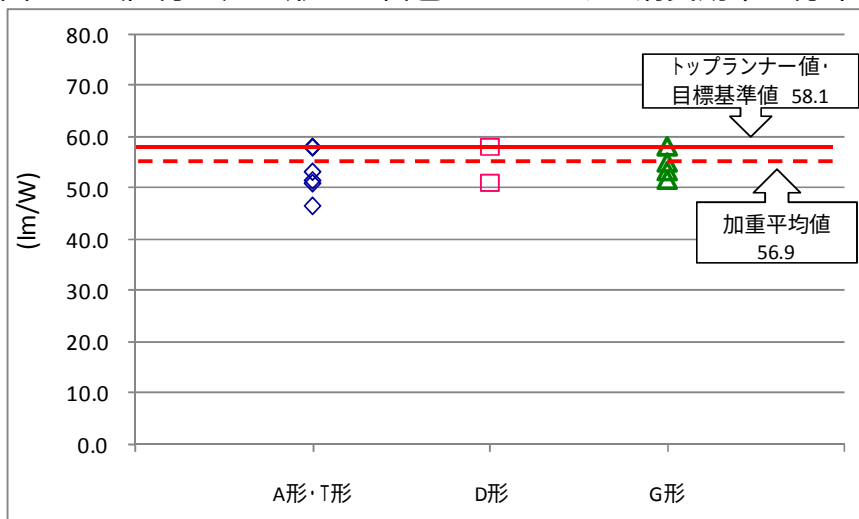


図3. (区分3) 10形・昼光色のエネルギー消費効率の分布

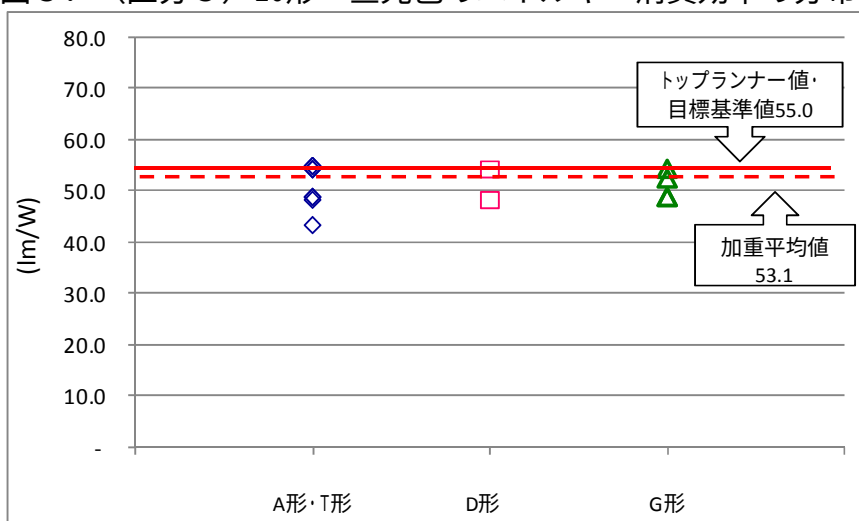


図4. (区分4) 15形・電球色のエネルギー消費効率の分布

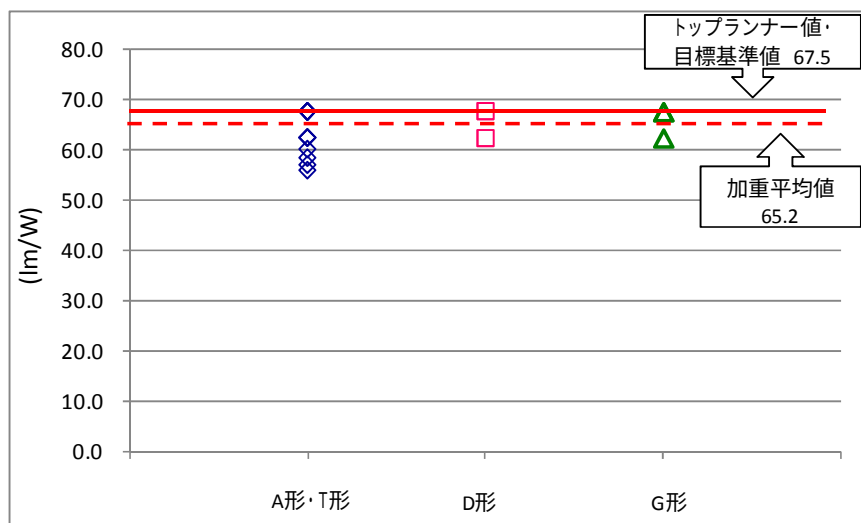


図5. (区分5) 15形・昼白色のエネルギー消費効率の分布

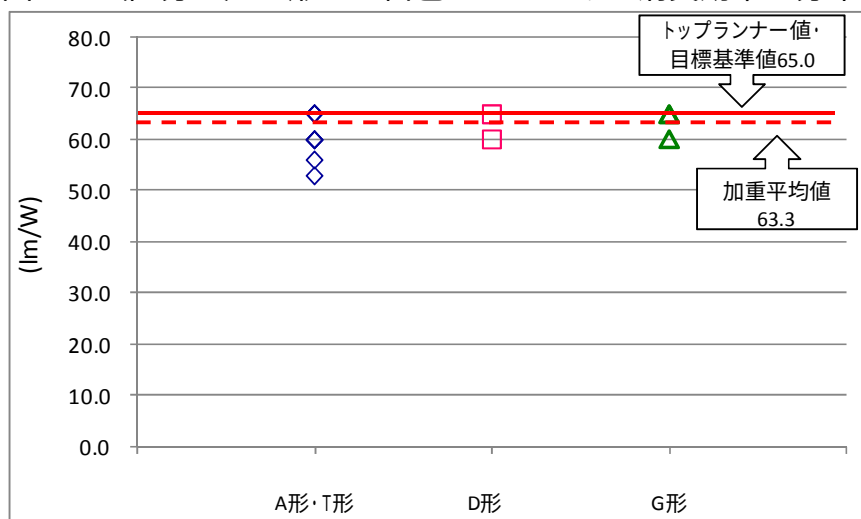


図6. (区分6) 15形・昼光色のエネルギー消費効率の分布

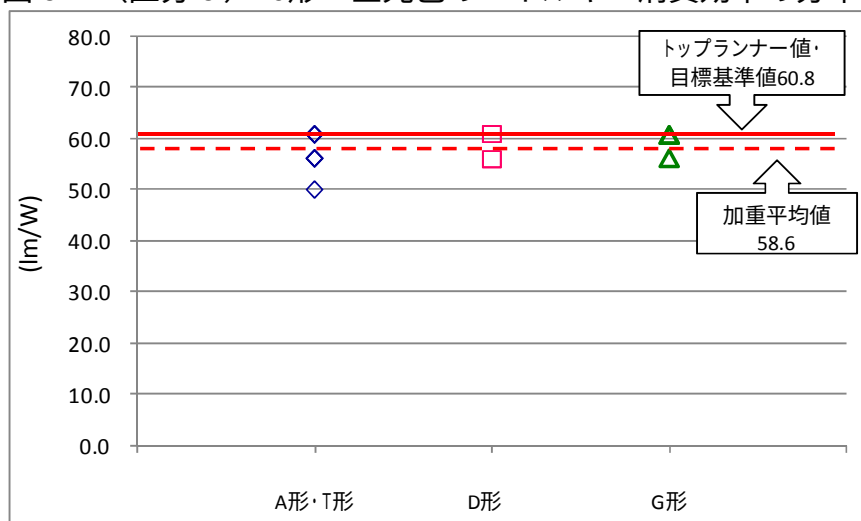


図7. (区分7) 25形・電球色・D形のもののエネルギー消費効率の分布

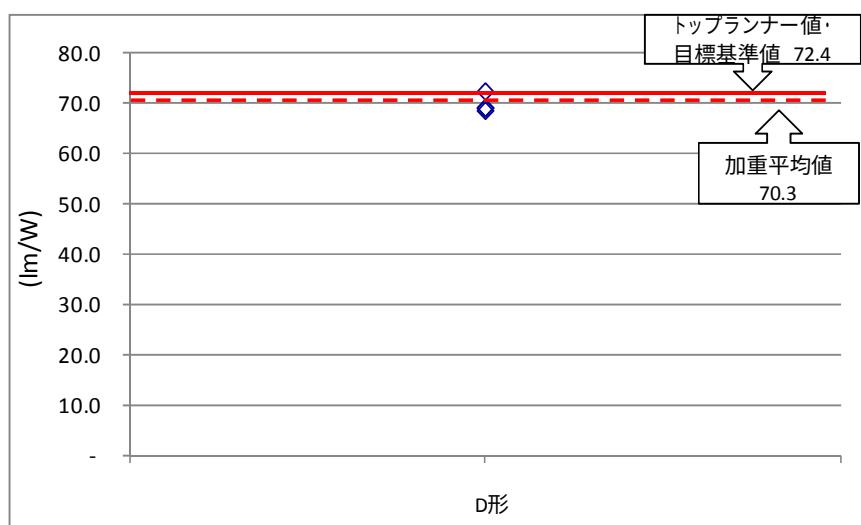


図8. (区分8) 25形・電球色・D形以外のもののエネルギー消費効率の分布

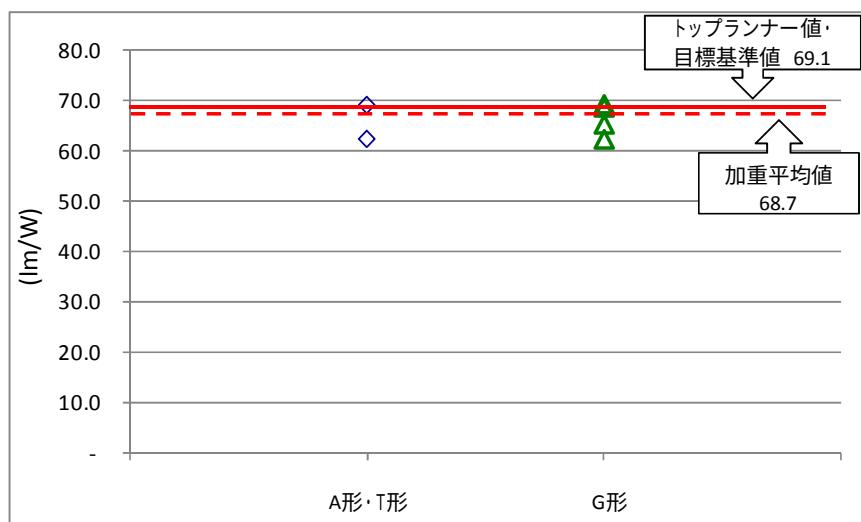


図9. (区分9) 25形・昼白色・D形のもののエネルギー消費効率の分布

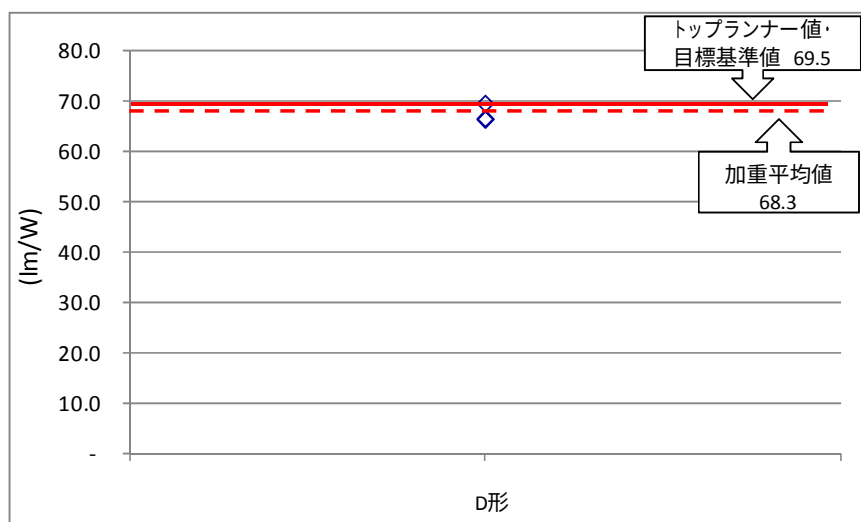


図10. (区分10) 25形・昼白色・D形以外のもののエネルギー消費効率の分布

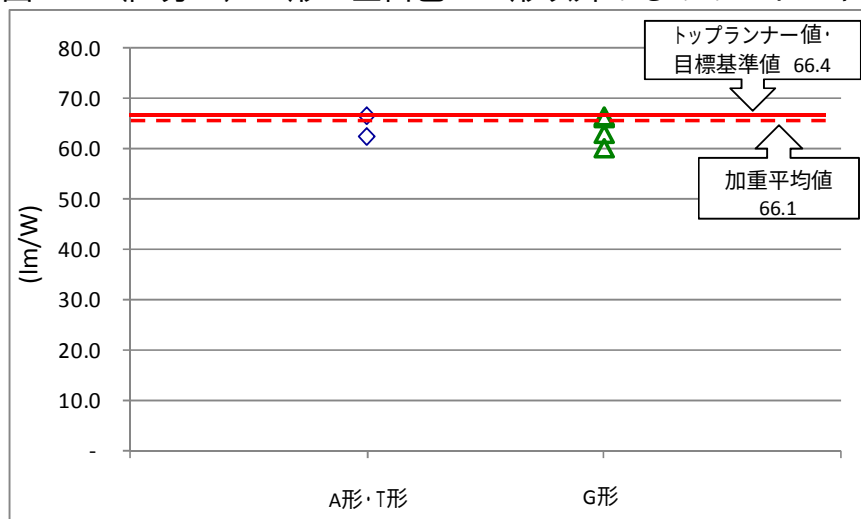


図11. (区分11) 25形・昼光色・D形のもののエネルギー消費効率の分布

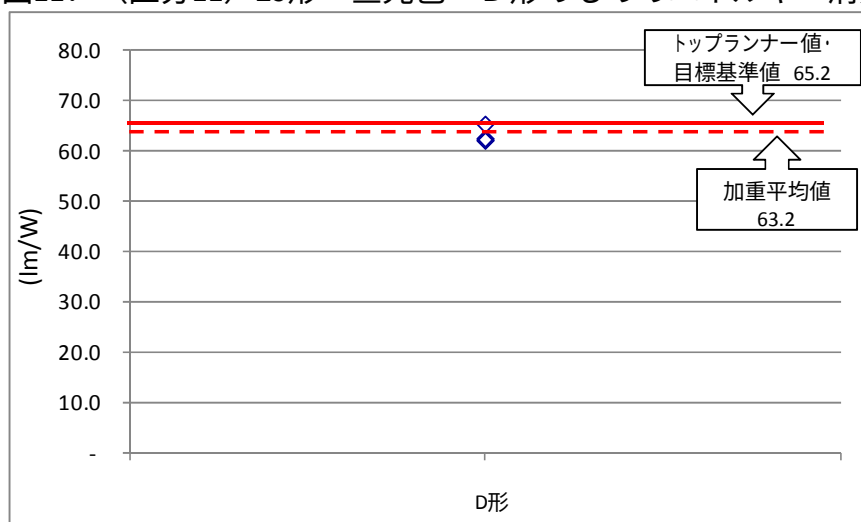


図12. (区分12) 25形・昼光色・D形以外のもののエネルギー消費効率の分布

